

聖なる都・新しいエルサレム

2026年10月4日

ヨハネの黙示録 21章1～8節

ヘブル人への手紙 12章22～24節 贖われた者たちの永遠の住まい

11章9～10節 アブラハムが待ち望んだ都

序：千年王国：旧約聖書預言のクライマックス 黙示録 1～20章（旧約にも有）
永遠の秩序（御国）：新約聖書預言のクライマックス 黙示録 21～22章のみ

千年王国：修復された、地上に、千年間だけ存在、不完全（罪も死も減少だが皆無で
永遠の御国：永遠の王国、永遠の王座、永遠の王 はない）

I. 古い秩序の消滅と新天新地の創造

(1) 白い御座のさばき（すべての不信者・悪の三位一体＝悪魔・反キリスト・偽預言者
古い秩序（以前の天と以前の地＝創造以後、墮落、修復された千年王国すら不完全

(2) 新しい秩序（新しい天と地）が創造される

(3) 海がない（海：地がさばかれた結果）

(4) 聖なる都・新しいエルサレム（すでに第三の天に存在・新天新地創造より前から）
花嫁のように整えられて新地に下ってくる

(5) 旧い地上のエルサレムは常に諸国諸勢力から支配・圧迫・攻撃された
新しい天のエルサレムは永遠に自由 ガラテヤ 4:26

(6) 天のエルサレムの住人

父・子・御霊（三位一体）の神

御使いたち

教会時代の聖徒たち

完全な者とされた義人たち（旧約時代の聖徒たち、大患難時代の聖徒たち
千年王国の期間の聖徒たち）

II. 天のエルサレム

(1) 神が人とともに住んでくださる（神の栄光の輝きが満ちているところで生活）
神は人々の神、民は神の民（何も創造主と被造物を遮断する者はない）

(2) いっさいの労苦、呪いが取り去られ、その原因となる罪もない状態
人間の墮落によって損なわれた神との関係、人と人との関係、ほかの被造物との関
係（創 3・16～19の呪い）が完全な状態になる

Ⅲ. 神の宣言

- (1)すべてを新しくする（新天新地を創造）約束
書き記せ（真実・信頼できる保証）
- (2)神の計画が完成・成就した
神の永遠性：アルファでありオメガ、初めであり終わり
神は全能・真実：約束は必ず守られ成し遂げられる
- (3)民（信者、神の子ら）への祝福
 - ①いのちの水の泉から、永遠に渴きをいやす無償の水を与える
 - ②新天新地とそこに降りてくる聖なる都・新しいエルサレムを相続させる
朽ちない財産
- (4)不信者へのさばき
 - ①相続するもの＝第二の死
 - ②永遠の住まい＝火と硫黄の燃える池（地獄）

Ⅳ. 結び

- (1)新天新地は新たに創造される、そこにすでに在る聖なる都・新しいエルサレムが
第三の天から降って来る
cf. 千年王国との違い
- (2)神と人の間を隔てるものは何もない（罪も死もない、労苦や悲嘆もない）
神は彼らの神となり、彼らは神の民となり、永遠にともに住む
- (3)信者は、渴きを癒すために、いのちの水の泉から無代価で飲むことができる
すべてが神からの賜物、恵みである／自力で獲得できるものは皆無
- (4)神は父、民は子どもなので、父のものを相続する ローマ 8・17
- (5)永遠の御国の住民と火と硫黄の燃える池（地獄）の住民に分かれる
基準はこの世にいる間に、イエスを「私の神、私の主と心で信じ、口で告白したか
否かである
- (6)第二の死（地獄）に行く者のリストの筆頭が「おくびょう者」となっている
神の御目と人間の目、判断基準はかなり違う
神の基準は、聖書によって知る、実際の神がなさっている御業によって知ることが
できる
おくびょう者：神に来るよう、信仰を持つよう促されていながら、その恵みを拒ん
だり、先送りしてついに機会を失う
他人の目を気にしたり、自分の立場が不利になったり、この世の中
で不利になったり損をするのを恐れて、ちゅうちょする
神よりも人を恐れ、見えるものを見えないものより優先する